

2014年1月9日

東急不動産株式会社
株式会社東急コミュニティー
株式会社東急住生活研究所

【東急グループで取り組む省CO2 推進プロジェクト】

国土交通省の「平成25年度(第2回)住宅・建築物省CO2 先導事業」に採択 プランズシティ品川勝島がプロジェクト第一号事例に

東急不動産(本社:東京都渋谷区、社長:金指 潔)、東急コミュニティー(本社:東京都世田谷区、社長:中村 元宣)、東急住生活研究所(本社:東京都渋谷区、所長:吉田 一居)は、共同で提案をした「東急グループで取り組む省CO2 推進プロジェクト」が、国土交通省の選定する「平成25年度(第2回)住宅・建築物省CO2 先導事業」に採択されたことをお知らせいたします。

今回採択された「東急グループで取り組む省CO2 推進プロジェクト」は、マンションなど住宅で先導的な省エネ措置を導入するとともに、産学協同の検証を通じてより実効性のある省CO2 施策の波及・普及を目指すプロジェクトで、東急グループの東急不動産・東急コミュニティー・東急住生活研究所・石勝エクステリア・東急ホームズ・東京都市大学・東急ストアなどが連携し、省CO2 を推進してまいります。

◆提案内容の概要

1. 居住者への省CO2 行動促進

- ・次世代クラウド型HEMSを活用したインセンティブ付与
- ・熱環境改善サポートプログラム実施などコミュニティマネジメント
- ・太陽光発電の売電収益を原資とした、コミュニティマネジメント運営

2. 省CO2 施策の実効性を産学連携で検証

- ・新築/既存マンション・戸建にHEMSを設置、使用エネルギーとライフスタイルの相関を分析
- ・東京都市大学との共同研究で、建物&居住者タイプに適した実効性のある省CO2 施策を検証

3. 新築・既存・戸建住宅・居住者へ波及・普及を実現

- ・検証成果を、新築/既存マンション・戸建・居住者へフィードバック、省CO2 を推進

◆評価されたポイント

HEMSと居住者の省エネ行動を支援する仕組みづくりと、多様な住宅への水平展開を目指したマネジメントと技術の検証は、今後の波及、普及につながる取り組みとして評価した。

管理組合やグループ企業全体での仕組みの構築など、継続性のある取り組みに発展することを期待する。

※平成25年度(第2回)住宅・建築物省CO2 先導事業 評価結果より引用

◆ブランズシティ品川勝島における取組み

マンションの新しい暮らし方「シェア・デザイン」の提案

- ・エネルギー、モビリティなど6つの「シェア」で省エネ・省CO2 の暮らしを進める
- ・新規開発のマンション向けエネファームを世界で初めて採用
- ・次世代クラウド型HEMSを導入。温度・湿度・照度を計測し省CO2 行動を光で誘発するエナジーオーブで見える化&照明・家電制御
- ・太陽光発電+蓄電池+カーシェア用EV車を連携するマルチパワコンシステムをマンションで初めて導入
- ・普及版MEMSと上記システムを連携。平常時はエネルギーピークカット、非常時はエネルギー自立



ブランズシティ品川勝島完成予想パース

以上